

【B年】

大齋節前主日

神よ、あなたはその独り子の受難の前に、聖なる山の上でみ子の栄光を現されました。どうかわたしたちが、信仰によってみ顔の光を仰ぎ見、自分の十字架を負う力を強められ、栄光から栄光へと、主と同じ姿に変えられますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書は列王記上第十九章九節から」

9 エリヤはそこにあつた洞穴に入り、夜を過ぎました。見よ、そのとき、主の言葉があつた。「エリヤよ、ここで何をしてゐるのか。」10 エリヤは答えた。「わたしは万軍の神、主に情熱を傾けて仕えてきました。ところが、イスラエルの人々はあなたとの契約を捨て、祭壇を破壊し、預言者たちを剣にかけて殺したのです。わたし一人だけが残り、彼らはこのわたしの命をも奪おうとねらっています。」11 主は、「そこを出

て、山の中で主の前に立ちなさい」と言われた。見よ、そのとき主が通り過ぎて行かれた。主の御前には非常に激しい風が起こり、山を裂き、岩を砕いた。しかし、風の中に主はおられなかつた。風の後に地震が起こつた。しかし、地震の中にも主はおられなかつた。12 地震の後に火が起こつた。しかし、火の中にも主はおられなかつた。火の後に、静かにささやく声が聞こえた。13 それを聞くと、エリヤは外套で顔を覆い、出て来て、洞穴の入り口に立つた。そのとき、声はエリヤにこう告げた。「エリヤよ、ここで何をしているのか。」14 エリヤは答えた。「わたしは万軍の神、主に情熱を傾けて仕えてきました。ところが、イスラエルの人々はあなたとの契約を捨て、祭壇を破壊し、預言者たちを剣にかけて殺したのです。わたし一人だけが残り、彼らはこのわたしの命をも奪おうとねらっています。」15 主はエリヤに言われた。「行け、あなたの来た道を引き返し、ダマスコの荒れ野に向かえ。そこに着いたなら、ハザエルに油を注いで彼をアラムの王とせよ。16 ニムシの子イエフにも油を注いでイスラエルの王とせよ。またアベル・メホラのシヤファトの子エリヤにも油を注ぎ、あなたに代わる預言者とせよ。17 ハザエルの剣を逃れた者をイエフが殺し、イエフの剣を逃れた者をエリヤが殺すであろう。18 しかし、わたしはイスラエルに七千人を残す。これは皆、バアルにひざまずかず、これに口づけしなかつた者である。」

朗読者 「旧約聖書を終わります」

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

詩編

第二七編 五十一節

5 わたしは主に一つのことを願ひ求めらるゝ生涯、主の家を住まいとし

6 主の麗しさを仰ぎ見て主の宮で思ふことを
7 悩みの日に神はわたしを幕屋のうちに潜ませ天幕の隠れ場にかくまい、岩の上に立たせてくださる

8 わたしを囲む敵の上に神はわたしの頭を高く挙げてくださる

9 喜びに溢れて幕屋でいけにえを献げ主をたたえて歌おう

10 主よ、わたしが呼ぶとき、わたしの声に聞きわたしを憐れみ、こたえてください

11 わたしの心は言う、「神の顔を求めよ」神よ、あなたの顔をわたしは慕い求めます

使徒書

朗読者 「使徒書はペトロの手紙Ⅱ 第一章十六節から」

16 わたしたちの主イエス・キリストの力に満ちた来臨を知らせるのに、わたしたちは巧みな作り話を用いたわけではありません。17 莊嚴な栄光の中から、「これはわたしの愛する子。わたしの心に適う者」というような声があつて、主イエスは父である神から誉れと栄光をお受けになりました。18 わたしたちは、聖なる山にイエスといたとき、天から響いてきたこの声を聞いたのです。19 こうして、わたしたちには、預言の言葉はいっそう確かなものとなつていきます。夜が明け、明けの明星があなたがたの心の中に昇るときまで、暗い所に輝くともし火として、どうかこの預言の言葉に留意しててください。

朗読者 「使徒書を終わります」

一同立つ。

ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」
会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖マルコによる福音書第九章二節以下に記された主
イエス・キリストの福音。主に栄光」
会衆 「主に栄光がありますように」

2 六日の後、イエスは、ただペトロ、ヤコブ、ヨハネだけ
を連れて、高い山に登られた。イエスの姿が彼らの目の前
で変わり、3 服は真っ白に輝き、この世のどんなさらし職人
の腕も及ばぬほど白くなった。4 エリヤがモーセと共に現れ
て、イエスと語り合っていた。5 ペトロが口をはさんでイエ
スに言った。「先生、わたしたちがここにいるのは、すばら
しいことです。仮小屋を三つ建てましょう。一つはあなたのため、
一つはモーセのため、もう一つはエリヤのためです。」
6 ペトロは、どう言えばよいのか、分からなかった。弟子た
ちは非常に恐れていたのである。7 すると、雲が現れて彼
らを覆い、雲の中から声がした。「これはわたしの愛する子。
これに聞け。」8 弟子たちは急いで辺りを見回したが、もはや
だれも見えず、ただイエスだけが彼らと一緒にいられた。
9 一同が山を下りるとき、イエスは、「一人の子が死者の中
から復活するまでは、今見たことをだれにも話してはいけな
い」と弟子たちに命じられた。

司祭 「主に感謝」
会衆 「主に感謝します」